



TITLE:

Rural Economy and Community Ties of the Red River Delta, Vietnam in the Process of Transition to Market Economy(Abstract_要旨)

AUTHOR(S):

Okae, Takashi

CITATION:

Okae, Takashi. Rural Economy and Community Ties of the Red River Delta, Vietnam in the Process of Transition to Market Economy. 京都大学, 2015, 博士(地域研究)

ISSUE DATE:

2015-03-23

URL:

<https://doi.org/10.14989/doctor.k19103>

RIGHT:

学位規則第9条第2項により要約公開

(所定様式 4)

市場移行下ベトナム紅河デルタの農村経済とムラ結合
Rural Economy and Community Ties of the Red River Delta, Vietnam
in the Process of Transition to Market Economy

大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
東南アジア地域研究専攻 岡江恭史

学位論文内容要旨

本博士学位申請論文は、途上国の市場移行に関する既存研究の整理（序章・第1章）と筆者自身のベトナムにおける15年間にわたるフィールドワーク（第2～4章）に基づいて、ベトナムの市場移行・工業化の背景となっている安定的な農村を維持しているのは伝統社会システムに根ざすムラ結合であることを明らかにした。なお調査地は、社会主義システムが長期間機能し、かつそれに先立つ伝統社会システム（ムラ社会）が存在していた紅河デルタ地域から2ヶ村を選んだ。

序章では、本研究の背景と課題を示した。途上国でもある（旧）社会主義国の市場移行に関する既存研究は、社会主義システムと伝統社会システムのそれぞれから市場経済システムへの移行を論じてきたが、社会主義システムと伝統社会システムの関係には踏み込んでいない。またベトナムは中国型の移行モデルを後追いしているという議論が主流であるが、両国の伝統社会システムの違いはほとんど考慮されておらず、またベトナムが急速な工業化にもかかわらず安定した農村人口を維持しており都市と農村の所得格差も大きくないという中国との違いを説明していない。本論文は、ベトナムの市場移行過程における伝統社会システムの役割を、社会主義システムとの関係に注目しながら分析することにした。

第1章では、ベトナムの体制移行戦略とその特徴をまとめ、その背景としての伝統社会システムを指摘した。ベトナムの特徴として、ショック療法的改革（1989年の価格全面自由化）を経験したにもかかわらず共産党支配体制を維持していること、市場経済化と社会的公正の両立を図っていることがあげられる。これらの特徴と序章でも指摘した安定した農村人口の背景として、相互扶助的な村落慣行の残るベトナムの伝統社会システムの存在がある。これに対して先に豊かになれる人・地域から発展する「先富論」が受け入れられた中国では、社会の流動性が高く人々の行動を縛る規範や団体の力が弱い伝統社会システムという背景がある。ベトナムのムラ社会を維持している住民の地縁的な結合およびムラを取り巻く狭い範囲の血縁的な結合を本論文では「ムラ結合」と呼ぶ。ベトナム政府もこのムラ結合を重視し、最新の農村政策においてもムラ結合を維持する政策を取っている。

第2章では、現代の農村行政におけるムラ結合の役割を指摘した。ナムディン省バックコック村では、社会主義システムの中核であった農業合作社が、ムラ結合を基盤として伝統村落が備えていた相互扶助的な村落慣行を引き継いで存続した。現在は治安維持や行政の下請けはソム（合作社の下部組織である生産隊の範囲）が担っている。一方ハイズオン省カオドイ村では、歴史的経緯の異なる村々を強制的に統合した農業合作社が解体するとともに、旧村が生活の中に復活し共有財産管理・治安維持や行政の下請けを行っている。

第3章では、現代の農業生産におけるムラ結合の役割を指摘した。ムラ結合を基盤とするバックコック村のコックタイン農業合作社は、農業指導やジャガイモの契約栽培など現在でも農業生産において大きな役割を果たしている。また市場経済に対応して新しく結成されたカオドイ村の専門農協（ナムサック畜産合作社）においても、地縁・血縁的なムラ結合を媒介に組織を拡大した。

第4章では、市場経済化で増加している農村住民の資金需要におけるムラ結合の役割を指摘した。両村ともムラ結合を基盤にした祖国戦線（共産党の翼賛組織）の最末端組織が農村金融を仲介することによって、住民の生活改善に貢献するとともに100%に近い返済率をもたらしていた。

第5章では、以上をとりまとめて結論を出した。ベトナムの市場移行・工業化の背景となっている安定的な農村を維持しているのはムラ結合であり、行政・農業生産・資金需要のいずれにおいても重要な役割を果たしている。また住民生活や農業生産における農業合作社の、農村金融における祖国戦線の活動にみるように、社会主義システムに由来する制度がムラ結合を活用しながら市場経済システム導入に大きな役割を果たしているのがベトナムの特徴である。

(注) 字数は 2000 字程度（英語の場合は 800 語程度）とし、明朝体（英語の場合は Times New Roman）、11 ポイントで作成すること。続紙可。

外国語の場合は、日本語訳を添付のこと。